

第58回 全国道場少年剣道大会

『参加上の注意』

全道連 ウェブサイトにて順次 最新情報を掲載します。ご確認ください。

【 <https://www.zendoren.org> 】



出場者は必ず監督が引率し、事故防止並びに大会中選手の健康管理など、全ての責任を持って下さい。

安全対策について

- ① 本大会は、全日本剣道連盟制定の、「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」および「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な審判法」に沿って開催します。
- ② 来館者におけるマスクの着用は個人の判断とします。
- ③ 下記の入場人数制限を行います。
【団体戦：1チームにつき選手3名、監督1名、付添者8名】の12名以内とします。
(※座席を必要としない、乳幼児は人数に含めません。また、自由席はありません)
- ④ 各日の出場受付時に、選手、監督は入館証(ID)、付添者は入館証(リストバンド)を発行します。
- ⑤ 試合中以外の館内移動・待機中は入館証の着用をお願い致します。
- ⑥ 選手のID 着脱については、監督が管理をお願い致します。
- ⑦ 座席、控え場所における面の着脱時等、監督責任のもと管理し、各自消毒、衛生管理を行って下さい。
- ⑧ 食事は観覧席でお願いします。
- ⑨ ケガ等に十分注意して下さい。
- ⑩ 運営は感染に関する注意喚起を行いますが、各自において感染対策を行って頂き、参加者が新型コロナウイルス感染症等に感染しても一切の責任を負わないものとします。
- ⑪ 今後の状況により、開催内容の変更および大会を中止する場合があります。
- ⑫ 中止となった場合は、参加料は準備状況に応じた諸経費を差し引いて返金します。
- ⑬ 選手・監督および保護者は本大会における対策および取り決めについて、同意の上出場するものとします。
- ⑭ その他、当日の館内放送に注意して下さい。

準備等

- ① 出場する試合の確認は、【出場決定通知書】のエントリー部門・試合日・試合場をよくご確認ください。
- ② 選手は、なるべく事前に着替えて来館して下さい。
- ③ 試合者の目印(紅白たすき)は、各自ご持参頂き着脱も行って下さい。
プログラムによるチーム番号の若い方を赤とします。
- ④ 試合者の名札は所属団体部分がチーム名(全道連登録名、略称可)と合致した、姓入りの明確に読み取れるものを使用して下さい。
(全道連に「〇〇中学」等、学校名で登録していない場合は「〇〇中」の名札は使用できません)
- ⑤ 少年剣士会員章(ワッペン)は、試合参加証であり、また、傷害保険証です。
選手は、ワッペンを剣道着右上腕部に、必ずつけて参加して下さい。
ワッペンの紛失は監督が大会本部室(B2階)にて再購入して下さい。付添者はB2階へ降りれません。
- ⑥ 選手の館内での履物について、アリーナ以外での館内外の裸足歩行は禁止されております。
スリッパ、運動靴等で移動をお願いします。トイレには裸足で入らないで下さい。
チーム毎にくつ袋を準備し、監督が管理して下さい。紛失・盗難予防に、名入れ等の対策をお願いします。
- ⑦ 竹刀は竹刀スタンドを利用する等、チーム毎にまとめて監督が管理し、通路等をふさがないで下さい。
- ⑧ 本大会ではオーダー表は使用しません。
- ⑨ 入場行進は行いません。少年団旗、プラカード等は不要です。
- ⑩ 大会前日の会場内の下見はできません。また、両日共、物を置いておく事ができません。
両日共、完全撤去という形をとります。残された物は撤収し、遺失物として本部で預かります。
- ⑪ 館内備品の取り扱いにご注意下さい。
- ⑫ 監督・選手は、開会式終了後、迅速に試合ができるよう、ご準備下さい。
試合順番の確認は当日配布するプログラム受領の後、直ちにご確認下さい。
試合の組み合わせは全道連 ウェブサイト にも掲載します。

準備等

- ⑬ 日本武道館宛に前もって剣道具等の荷物を送り届ける事はできません。
帰りの宅急便については、大会期間中、中道場前テントにて午前11時より荷物の発送受付が可能です。
- ⑭ 退館の際は、席及び使用した箇所を清掃してご退館下さいませようお願いします。

食事

昼食が必要な者は各自で用意し、応援席でのみ飲食して下さい。

飲食後は各自、手洗い、消毒、座席の衛生管理を行って下さい。
ゴミはお持ち帰り下さい。

旗

今大会は、旗かけを禁止とします。

SSP

- ① 選手は本大会においてSSPシール貼付の竹刀を使用して下さい。
- ② カーボン竹刀(樹脂製竹刀)は、今まで通り使用出来ます。
- ③ 試合前、竹刀の検品は行いませんが、該当竹刀以外の場合、
「全日本武道具協同組合」ブース(北西階段前テント)にて対応して下さい。

選手の登録・変更

- ① 補欠選手は認めません。
- ② **登録時2名の場合は「中堅」をあけて「先鋒」と「大将」で登録して下さい。**
- ③ **【出場決定通知書】**発送後の欠員補充は、試合当日当該チーム第1試合開始までに、各試合場にて、
選手変更の手続きを行って下さい。ただし、**オーダーの変更はできません。**
- ④ 選手変更は監督が該当試合場の「選手変更届」用紙に記入頂き、審判主任又は試合場責任者の了承を得て下さい。
尚、試合が開始されてから事故者等が出た場合は欠員のままで行います。

受付

- ① 当日の出場受付は、午前7時30分(予定)より 日本武道館【正面西口前】で行います。
- ② 受付は同封の**【出場決定通知書】**により、チーム代表者1名(付添者代理受付可能)が行って下さい。
- ③ **受付時に当日の入館証(ID・リストバンド)を配布しますので、入館証を着用の上、
全員揃って入場待機列へお進み下さい。**
- ④ **体調の優れない方や当日発熱のある方(37.5度以上)の参加はご遠慮願います。**

入場

- ① 前日からの日本武道館のある北の丸公園内の立ち入りを禁止致します。
- ② 試合当日の選手、監督、付添者以外は日本武道館内には入れませんので厳守下さい。
- ③ 全来館者は、当日受付で配布する各日指定の入館証(IDまたはリストバンド)を必ず着用して下さい。
- ④ 入場口は、チームごとに割り当てられた指定席によって異なります。指定された入口より入場して下さい。
- ⑤ 監督は、団体1チームにつき1人の登録です。
- ⑥ 係員の指示に従い、混乱や事故の無いよう入場して下さい。

指定席

- ① 厳正なるコンピュータ抽選により割り振ります。【出場決定通知書】に記載された指定席をご利用下さい。
- ② 座席指定をしているため、自由席は設けません。
- ③ **消防法の規制強化に伴い日本武道館内全ての場所で、シート類による場所取りの他、
観覧席以外いかなる場所でも荷物を置いておく事はできません。**

準備運動

- ① **今大会では、ウォーミングアップの時間を設けません。**
また、日本武道館 館内外、駐車場他北の丸公園合めて、竹刀を用いる練習を禁止します。
- ② 各自準備体操を行い、ケガの無いよう十分注意して下さい。

開会式

- ① 両日共、午前9時より開会式を行います。アリーナ(試合場)への整列は**5試合目**までの選手とします。
それ以外の選手は観覧席で開会式に参加して下さい。
- ② 整列する選手は、午前8時35分までにアリーナに胴・垂着用の上、面、小手、竹刀はアリーナ内の待機エリアに置いてご集合下さい。
それ以降のアリーナへの入場は、式典の関係上ご遠慮頂きます。同時刻までの集合にご協力下さい。
その他の選手は式典中に他の場所で準備運動などは行わないで下さい。
- ③ 進行の妨げとなりますので、上記のチーム以外の選手はアリーナに入場しないで下さい。

- ① B2階アリーナ(試合場)に入場するには、「チーム受付札」が必要となります。(1回戦～3回戦終了まで)必ずB2階招集場所(中道場)にて招集、点呼を受けて「チーム受付札」をお受け取り下さい。
※開会式にB2階アリーナで参加する第1試合(試合番号①)～第5試合(試合番号⑤)の選手は、直接アリーナ内待機エリア集合、点呼を受けたのち、係員の指示に従い各試合場付近に整列して下さい。
- ② 第6試合(試合番号⑥)以降の選手、監督の入退場は、試合番号順に下記の手順で係員の指示に従って下さい。
応援席⇒【南西階段(下り専用)】⇒B2階(中道場)⇒アリーナ入口⇒アリーナ内待機エリア⇒各試合場⇒退場⇒【南東階段(上り専用)】・【北西階段(上り専用)】⇒応援席
※B2階への移動は、下り【南西階段(下り専用)】のみ。上りは【南東階段(上り専用)】・【北西階段(上り専用)】です。
- ③ 開会式終了後、試合番号⑥～⑧までのチームは招集場所のB2階中道場へ移動して下さい。
以降、試合の進行ごとにB2階 招集場所の中道場にご集合願います。
(アリーナ内電光掲示板の各試合場の試合番号表記『+6』で移動開始)
- ④ 一試合ごとの退場にご協力をお願いします。
法令順守の観点から指定場所以外(B2階、廊下等)での待機は決して行わないで下さい。
- ⑤ 選手待機エリアが広くありません。また、竹刀、面の取り扱いが問題になっております。
「竹刀スタンド」等を用いて竹刀をまとめ、会場内の整頓にご協力をお願いします。
- ⑥ 廊下に脱いだ履物を置いておくことが禁止になりました。
試合場への入場時は各チーム、靴袋を準備頂きアリーナに持ち込み、靴の管理、履き替えにご協力下さい。
- 日本武道館 館内図等詳細につきましては順次、全道連 ウェブサイトに掲載致します。【<http://www.zendoren.org>】

応援は拍手で行って下さい。

- ① 試合は3人制団体戦で各試合場、トーナメント方式により、全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則、審判細則並びに、『新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法』、および本大会要項、申し合わせ事項に従って行う。
下記の遵守をお願い致します。
※試合者は試合中、面マスクかマウスシールドのどちらかを着用すること。
1. 試合時間は小学生2分、中学生2分30秒、3本勝負で行い、勝敗の決しないときは引き分けとする。
 2. 勝者数、総本数が同数のときは、任意による代表者戦によって勝敗を決する。
代表者戦は1本勝負とし、2分ずつ時間を区切って、延長3回ごとに5分の休憩を取り、勝敗の決するまで行う。
 3. 試合者は鏝競り合いを避ける。接触した瞬間の引き技、及び体当たりからの技(発声を含む)は認める。
やむを得ず鏝競り合いになった場合、試合者はすみやかに分かれる。(剣先が触れない所まで下がる)
 4. 「上段の構え」、「突き技」については、(公財)日本中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項に準じ禁止する。
ただし、隻腕の場合は事前に大会本部に連絡すること。
 5. 竹刀の規格は全日本剣道連盟の規則に従う。ただし、小学生は111cm(3尺6寸)以内、中学生は114cm(3尺7寸)以内の安全な竹刀を使用すること。
監督は責任をもって選手の竹刀が、試合ごとに適格かつ安全な竹刀であることを確認すること。
 6. 試合場は規則より狭く設営してあるが(8m×8m)、「場外」の反則は規則通り適用する。
 7. オーダーを間違えた選手を2本負けとする。オーダー違いが発覚した時点で2人が負けとなり、チームの敗退が決定する為、関係者一同、対戦相手を取り違えないよう充分注意すること。
チームの負けが決定した場合も試合は最後まで続行し、その試合以前の結果まではさかのぼらないこととする。
- ② 各試合場の1回戦目までにおいて、数回呼び出しても現れないチームがある場合は、次の試合を進めます。
3試合を待ち、それまでに現れない場合は不在チームの不戦負けとします。その間、対戦チームはその場に待機してして下さい。
- ③ 各試合場の2回戦目以降は、数回呼び出しても現れない場合は不在チームの負けとします。試合進行にご注意下さい。
- ④ 交通機関等の事情により、上記の時間以上、試合場到着が遅れる場合は、大会委員長又は大会総務委員長により判断致します。
- ⑤ 進行状況により試合場を変更する場合があります。場内アナウンスにご注意下さい。

- ① 16試合場における上位各4チーム(ベスト64)以上、敢闘賞(ベスト8)を順次、本部席横にて表彰します。
準備が出来次第、アナウンスしますので、お集まり下さい。
- ② 表彰式は優勝～第3位(ベスト4)までを表彰します。

- ① 日本武道館 館内外、駐車場他北の丸公園含めて、稽古、素振りは禁止となっています。遵守下さい。
- ② 廊下及びバルコニー他、北の丸公園内、駐車場内含めて、シート類・ロープ等で陣を取ったり、そこで飲食する事を禁止します。
- ③ ゴミ類は、館内で捨てられません。お持ち帰り下さい。
- ④ 館内及び館外は一部指定喫煙場所を除き全面喫煙禁止です。指定場所以外での喫煙は一切できません。ご協力下さい。
- ⑤ 館内の電気コンセントの使用はできません。また、館内の設備は大事に使用して下さい。
- ⑥ 館内外(駐車場含む)の事故、盗難等に一切の責任を負いません。
- ⑦ 大会開催施設周辺での事故が発生したことがあります。充分ご注意下さい。
少年剣士が試合以外でも怪我をしないよう、また、子供たちだけで遊ばせないようくれぐれもご注意下さい。
※応援席からビデオカメラ等が落下する事故が増えています。大事故になりかねません。危険ですので、手摺りに物を置いたり、手摺りを越えて物を扱うことは絶対にしないで下さい。
- ⑧ 本部に届けられた遺失物については大会期間中、本部席で預かります。
大会終了後は2ヶ月間、事務局で保管します。お問い合わせ下さい。その後は処分させていただきますのでご了承下さい。
※ 盗難には十分ご注意下さい。
※ 主催者は大会中負傷疾病に対し応急手当をする他は一切の責任を負いません。試合者(選手)は少年剣士会員章(ワッペン)の傷害保険が適用されますので、万一、傷害が発生した場合、本部に届け出て下さい。

本大会の非常時対応について

自然災害に対する安全対策として、大きな揺れ等、危険と判断した場合は直ちに試合を止め、係員の指示に従って行動して頂きますので、ご了承下さい。

個人情報およびビデオ等の撮影について

- ※ 申込書により得られたデータは、プログラムの選手名掲載他、記念品制作等及び、剣道普及のために使用することがあります。
- ※ 大会の会場において、個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えありませんが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止します。ただし、全道連から許諾を得て行う場合はこの限りではありません。
- ※ 大会の会場等におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会の運営等を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮して下さい。
- ※ 全道連または全道連が許可した報道機関等が撮影した写真や映像が新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等に掲載や配信、販売されることがあります。
- ※ インターネット上で無断撮影の動画等を発見した場合、削除申請を行います。

監督の服装について

特に規定を致しませんが、相応しい恰好をお願い致します。

反倫理的行為等の根絶について

剣道に限らず、他スポーツ団体においても近年取り沙汰されている反倫理的行為(暴力・各ハラスメント差別・禁止薬物使用等)の問題に対して、平成30年全剣連が、倫理に関するガイドラインを制定しました。本連盟と致しましても特に剣道を通して幼年から青少年の育成に携る立場である事から、これを真摯に受け止め、根絶に向けて取り組まなければなりません。指導者の皆様におかれましても、この事を充分留意され、剣道の理念を熟慮し、健全な活動と剣道の発展にご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ※ **選手・監督および保護者は本大会の取り決めについて、同意の上出場するものとします。**

万一事故や大きなトラブルがあった場合、大会が開催できなくなります。
 < 大会が盛会かつ円滑に事故なく終了するよう ご協力をお願い致します >

- ※ **開催や規則等、適宜変更する場合があります。**

一般財団法人 全日本剣道道場連盟 <http://www.zendoren.org>

公益財団法人 日本武道館 <https://www.nipponbudokan.or.jp>